

顔振峠と明るい山村を歩く道

顔振峠・越上山～ユガテ

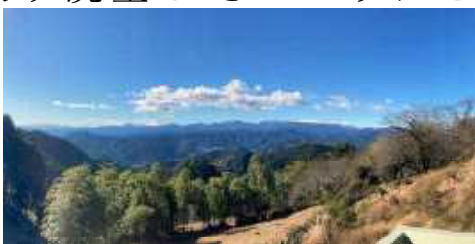
実施日 2021年12月19(日)
 天候 晴れ
 リーダー 白石 恵美子
 参加者 福島政幸、山崎富美恵、白石恵美子、石附智江、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、徳山敬子、瀧澤きよの、宮崎敏男、阿部一郎 計13名
 費用 西武線 1,174円(池袋駅起算)
 タイム 吾野駅(9:00-9:10)顔振峠(10:44-10:57)諏訪神社(11:16-11:37)越上山(12:07-12:31)蟹穴山(13:29-13:35)十二曲(13:36)エビガ坂(14:03)ユガテ(14:32)橋本山(14:58-15:06)東吾野駅(15:46)

東吾野駅に総勢13名集合。駅舎の横の階段を下り国道に出る。横断して右に進む。顔振峠と書かれた標識の所では曲がらずにそのままに進み、吾野橋を渡り、その先で



高山不動方面への道と別れ、顔振峠の標識が指し示す右の車道に行く。30分ほど歩き、車道が急にカーブするあたりで右の登山道に入る。杉や檜の植林帯が続き、そのまま一気に登ると車道に出る。「摩利支天尊」と書かれた神社のようなく建物を右に見て更に進むと間もなく顔振峠に着く。

その昔、源義経が奥州落ちの折、顔を振り振り眺望したというほど展望が素晴らしい。大山、丹沢の方面、武甲山などが綺麗



に見えた。

平九郎茶屋(ご存じの方も多いたと思うが、現在NHKで放映されている大河ドラマ『青天を衝け』の主役、渋沢栄一の見立養子である渋沢平九郎が「飯能戦争」の際、戦いに敗れ逃亡中に立ち寄ったことから名付けられた)の前の車道を右にしばらく歩く左側に「諏訪神社」への案内板があるので左折し、その細い道をしばらく歩くと15分程で諏訪神社に着く。

昼食には少し早いですが、その先に適当な場所がないため、昼食休憩にする。日当たりが良く、広々しているので、昼食には最適だ。

昼食後、更に30分程で越上山登山口を経て越上山山頂だ。



山頂までは岩ゴロゴロの急登だ。山頂は狭く展望もないので、写真撮影の後、今来た道を越上山登山口へ戻り、更に

短い登降を繰り返すとユガテだ。春には桜や色々な花が咲き乱れる桃源郷だが、残念ながら、今の季節は花はなく、紅葉も終わりかけである。

ユガテからは3つ程下るルートがあるが、分岐で左折し、橋本山方面へ向かう。またもや、短い登降を繰り返し、橋本山は巻道もあるが、展望が良さそうなので巻かずに登る。そこを下り、福德寺と吾那神社方面への道と別れるが左の吾那神社の方へ行く。更に短い登降を経て、東吾野駅に到着。



風もなく穏やかな小春日和、危ない所もなく、冬の山を楽しむことができました。参加された皆さん、お疲れ様でした。また、一緒に歩いていただければ嬉しいです。

(記：白石恵美子)

(写真提供・石原勝正/伊藤久雄)